

宇陀市人権推進だより

2019年度「総会」終わりました！！

宇陀市人権教育推進協議会 第14回総会を、去る5月30日（木）に市役所において開催しました。67名(事務局を含む)の皆様に出席いただき実施することができました。来賓には、高見宇陀市長、上田議会議長、福田教育長および大寺 奈良県人権教育推進協議会会長をお迎えし、開会行事において関係の皆様のご挨拶のあと議事に入りました。役員・活動方針・予算等提案案件はすべて承認され、今年度の活動の方向を確認いただき、無事に終了することができ



ました。出席された皆様にご心より感謝申し上げます。

理事（各地区人推協会長・人推委員会委員長）の皆様には、人権学習会や地区懇話会など、地域での活動を主軸として進めていただきますようお願いいたします、また、加盟団体におかれましては、人権教育推進の活動を団体運営において、活発に展開していただきたく思います。研修などの学習の機会には、多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。市事務局も人権問題の解決に向けて、ともに取り組んでいきたいと考えていますので、活動運営に関する事など、何かございましたら遠慮なくご連絡ください。

東日本大震災復興支援コンサートの実施報告（ご協力ありがとうございました）

去る5月18日（土）に、宇陀市文化会館 かぎろひホールにおいて、東日本大震災復興支援実行委員会 主催、宇陀市人権教育推進協議会 共催、そして宇陀市・宇陀市教育委員会の後援で、第5回すてきなともだちコンサートを実施いたしました。多数の皆様のご参加と義援金へのご協力に心から感謝申し上げます。以下のとおり報告いたします。

○当日の参加状況：約250名（出演関係者を含む）

○義援金集計総額：90,150円

※ご協力いただいた義援金は、過日6月4日（火）に主催者を代表して、中井実行委員長および丸岡 市人推協会長より、藤本健康福祉部長にお届けし、厚生保護課担当者を通じて、被災地に送る手続きを終えました。ありがとうございました。



人権セミナー、申し込み可能です

各地区や加盟団体および関係の皆様から申し込みをいただいております人権セミナーですが、参加申し込みが可能です。様々な人権問題について理解を深めるための機会です。受講料は不要です。ご検討のほどよろしくお願いいたします。（お申し込みは、市人権推進課 ☎82-2147 担当：中西まで）



宇陀市人権セミナーの予定（開催場所ならびに実施時間帯が、開催日により異なります。ご注意を）

回数	開催日	講演内容	講師名
	開催場所 / 開会時間		
1	6月15日（土）	障がい者の人権	子ども支援センター あお 代表 楠本 杉子 さん
	宇陀市農林会館（10:00～）午前開催		
2	8月23日（金）	女性の人権	参画ネットなら（DV防止プログラム・ファッションター） 松村 徳子 さん
	宇陀市役所（19:30～）夜間開催		
3	9月14日（土）	命の課題とものづくり （レザークラフト体験）	「おおくぼまちづくり館」保存事業運営委員会 ボランティアガイド 吉住 光洋 さん
	宇陀市役所（9:30～）午前開催		
4	11月9日（土）	人権スポット	奈良県立同和問題関係史料センター 所長 奥本 武裕 さん（あるいは同センター職員）
	宇陀市中央公民館（13:30～）午後開催		

「誤った部落問題認識」の払拭を！！～部落史認識の検証をとおして～

先日、今夏の参院選比例代表の立候補予定者が、被差別部落への差別を助長する発言をしたとして、報道されるとともに、各方面から抗議の声があがりました。この人は、今年2月に東京都内で講演を行った際、江戸時代の被差別民について、身分を示す差別的な呼称で取り上げ、「・・・人間以下と設定された人たちも、性欲などがあります。当然、乱暴なども働きます。一族野盗郎党となって、十何人で取り囲んで暴行しようとしたとき、侍は大切な妻と子どもを守るためにどうしたのか。侍はもう刀を抜くしかなかった。・・・」という話をしています。被差別民衆がまるで生まれながらの犯罪集団のように語り、差別意識を助長する許せない行為といえるでしょう。発言者の不十分な誤った歴史認識が、差別意識としてあらわれたのではないのでしょうか。

私たちが学んできた、かつての部落史認識 ⇒ 部落に対する差別意識を生み出す可能性を含んでいた

戦国時代から江戸時代はじめの支配者が権力の維持や安定のために最下層の被差別民において分団支配を行った。（身分制を土と農工商さらに低い身分とピラミッド構造で多くの場合説明）被差別民は田畑や生活に必要な権利を持つことを許されず、人の忌避する仕事を強要されたために低位で悲惨な生活を余儀なくされた。明治時代になると、江戸時代の支配政策はなくなり、身分制度は法的に廃止されたが、差別をなくすための施策や教育が行われなかったために、民衆は差別意識を維持し続けた。

各地の史料調査による新たな史実の判明にもとづく研究が進められて、部落問題を正しく理解するためにそれまでの内容が見直され、子どもたちが学ぶ教科書記述にも反映されている。

「部落史の見直し」が重ねられ、史実にもとづき改訂されてきた部落史認識（2000年度より部落問題に関する教科書記述が順次改訂）

支配・被支配の関係で身分制を説明し、身分を超えた交流があったことや被差別民の生活の中にも、産業、文化、芸術、等の分野ですばらしい活動があったことなども記述。また、他の農村と同様に水利権や入会権を持ち、農業を営み、年貢を納めていたことや部落は「草場」と呼ばれる權益を持つなど経済的に安定していたことが明らかになっている。奈良県内の部落のほとんどは鎌倉時代から戦国時代までに存在し、成立に政治権力が関与した形跡は認められない。

（これらに加え、明治時代の政策や制度が持つ差別性についても問題視する必要がある。）

「部落史観の転換」の取り組みの一層の発展や検証、差別意識を変革させるための人権教育・啓発の推進が今後も求められる。

当面の集会・研修の予定

7月13日（土） 宇陀市差別をなくす市民集会 宇陀市文化会館 13:30～

役員・理事・加盟団体の皆様をはじめ、多数の方々のご参加をよろしくお願いいたします。

7月26日（金） 市人推協 第1回役員会 市役所（会議室） 19:30～ 役員・事務局

7月31日（水） 部落差別撤廃と人権確立を目指す奈良県民集会 橿原文化会館 12:30～ 役員参加

8月6日（火） 平和・解放教育講演会 かしはら万葉ホール 13:30～ 参加要請に基づく申込者に案内送付

8月9日（金） 市町村人権・同和問題「啓発連協」第16回シンポジウム 13:30～ かしはら万葉ホール

8月28日（水） 奈人推協 夏期研修会 県社会教育センター（終日） 役員・事務局参加

9月5日（木） 市人推協 第2回理事会 市役所（会議室） 19:30～ 役員・理事・事務局

9月21日（土） 奈良県人権教育推進協議会 第52回 研究大会 9:30～ かしはら万葉ホール ほか

【発行責任者 宇陀市人権教育推進協議会事務局 中西 康典】

役員・理事・事務局

